

お金 × 大学改革 **まとめ**



どこからどんな「収入」を得てどう使うかは、その大学のありようを左右する。
大学の3大収入「学納金、補助金・交付金、寄付金」のこれからの増やし方、活用の仕方、そして大学改革との関係について、以下にまとめた。参考にされたい。

種類

ステークホルダーとその期待

増やすためには？

有効活用するには？

学納金

学生・保護者が「社会の中で生き抜く力を養成する教育」に期待

- 量「入学定員の確保」
- 質「学び合う集団づくり」
- 教育効果をデザインして伝える

- 自学ならではの特色ある教育プログラムの提供
- 学修成果の可視化

補助金・交付金

国民が「社会の発展に必要な取り組みをすること」に期待

- ビジョンを持つ
- 全学的な協力体制構築
- 政策についての情報収集と分析
- PDCAサイクルの構築
- 根拠資料の整備保管

- 大学の特色化
- 改革の呼び水

寄付金

卒業生、地域、企業等が「大学に望むこと」の実現に期待

- 中長期的な募集戦略
- 寄付者の実態調査分析
- 情報発信の工夫

- 自学の今とこれからの常に発信
- 社会の中で存在価値をつくる

そのためにすべき改革は？

- 入試改革
- 組織の見直し、ガバナンス改革
- 教職協働
- IRによりPDCAサイクルを回す
- 情報の公開・透明性を上げる
- 全学的なお金に対する意識改革など